

まちの話題

3人の功労者を表彰

— 善行・功労者表彰式 —

町に貢献・功績を残した人たちを表彰する善行・功労者表彰式が、11月26日(金)総合文化センター「パルナス」で行われ、今年度受賞の3人が晴れの栄誉を受けました。

式典では町長が「皆さまの功績に敬意を表する。英知を結集し、夢と希望が持てる未来を創造するため、これからも皆さまのご協力をいただきたい」とあ

いさつ。3人の功労者に表彰状と記念品が贈られました。

表彰後、受賞者を代表して横野昭治さんが「町民として当然のことをできる範囲でしたまで。

今日の栄誉を励みに、今後町発展のために尽力したい」と感謝の言葉を述べました。

■受賞者(敬称略)

白川孝憲 議会議員15年以上、小泊派立地区)

横野昭治(行政連絡員20年以上、小泊派立地区)

大川正子(民生児童委員20年以上、大沢内地区)



津軽中里駅舎 漬物まつり

漬物にこだわった イベント開催

津軽中里駅で12月5日(日)、新幹線開業を記念した「駅舎漬物まつり」が行われ、町内外から約300人が訪れました。

このイベントは、津鉄応援直売会と町生活改善グループが昨年まで大沢内駅舎で行っていたもの。今年も東北新幹線が全線開業することから、開業日に合わせて津軽中里駅で行われました。

駅舎内ではさまざまなイベントが催され、最初は漬物づくり

の実演。ヤーコン・キュウリの粕漬を実演し、参加者の興味を引いていました。

次に行われたのは、もちつき大会。津鉄サポーターズクラブが応援して行ったもので、親子での参加が多く、ほほえましい光景が見られました。

また、場内では漬物・農水産物の即売や、金多豆蔵人形劇の上演も行われ、たくさんの方で

ごった返していました。漬物まつりのリーダー木村てつさんは「今年もいっぱい来てくれてうれしい。さらに工夫してがんばり、来年も行いたい」と意気込みを話してくれました。

地域のよき相談相手 民生・児童委員辞令伝達式



12月9日(木)、パルナスで民生・児童委員の辞令伝達式が行われ、51人の委員に辞令が渡されました。

民生・児童委員は、各地区のよき相談相手となってくれる人たちで、福祉関係の悩みなどの相談を受けます。どうぞお気軽にご相談ください。

中里地域		担当地区	氏名
担当地区	氏名		
上高根	小野 功一	上高根	小野 功一
派立上	葛西 智佐子	下高根	佐々木 生子
派立中	門脇 タキ	薄市上	小寺 照義
派立中	荒関 一男	薄市上	下山 志津子
派立下	濱館 とよ	薄市下	成田 寛
向町上	中畑 良子	薄市下	伊藤 照昭
向町下	田中 せつ子	今泉上	青山 ヒロ子
五林	古川 伊久雄	今泉中	小山内 美保子
宮川	古川 テツ	今泉下	青山 妙子
宮野沢	外崎 眞理子	主任児童委員	馬場 百合子
深郷田上	宇佐美 勝二	小泊地域	
深郷田下	松谷 文雄	担当地区	氏名
八幡	藤崎 正則	花丘町	大澤 拓子
大沢内	大川 正子	若葉町	高山 静枝
二夕見	外崎 義信	新町1	山内 文子
富野	野村 國男	新町2	加藤 イツ
豊島	田中 けい子	派立	角田 好隆
芦野	三上 一美	上町	藤田 功
田茂木	川島 久幸	浜町	小野 清秋
上長泥	三上 ルエ子	入舟	尾崎 キヌ子
若宮	田中 町子	折戸	成田 由紀子
上豊岡	石川 美保子	下前上	太田 京子
下豊岡	石川 義一	下前中	磯野 清三
福浦	竹谷 ユリ	下前浜	奈良 久子
竹田	澤田 美合子	温泉町	秋田 谷徳美
尾別	宮越 栄	主任児童委員	工藤 トミ子
尾別	新岡 ふみえ	主任児童委員	角田 志保子



全国・各地の相撲大会で優勝

11月27日(土)夜、中央公民館で町体育協会相撲部のちゃんこ会が開かれ、その席で打越奎也くん(中里中2年)の輝かしい成績が報告されました。

打越くんは、全国大会や東北大会、県内の大会で、中学校2年生ながら飛ぶ鳥を落とす勢いで優勝。出場した15大会中、14大会で優勝を果たし、8月8日(日)に両国国技館で行われた「第21回全国都道府県中学生相撲選手権大会」では、並み居る3年生を退けて2年生の打越くんが優勝。青森県の団体メンバーとしても優勝を飾っています。

打越くんは、ちゃんこ会冒頭に「おかげさまで数々の優勝を記録できた。皆さんのおかげです」と感謝。追われる立場となる来年の目標を「個人、団体含めて1回も負けないようにしたい。完全優勝を目指したい」と、頼もしい返事が返ってきました。



子どもたちの がんばり

東北ジュニアシングルスソフトテニス大会

10月30日(土)、岩手県北上市で第11回東北ジュニアシングルスソフトテニス大会が開かれ、中泊ジュニアソフトテニスクラブのメンバーが11人参加しました。

その中で、中村唯さん(中里小4年)と木村真琳さん(中里小4年)の2人が、3位を獲得しました。

同クラブでは、毎週木、土曜日に町体育センターで練習を行っており、今回の3位獲得につながりました。おめでとうございます。



小泊中学校生徒が受賞

小泊中学校の生徒4人と、同校の中谷校長、陸上部顧問の小西先生が12月14日(火)に役場を訪れ、子どもたちの快挙を町長の報告しました。

訪れたのは、第9回未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーンでスローガン部門最優秀賞を受賞した秋田悠樹さん(小泊中2年)、佳作を受賞した磯野未和さん(同中1年)、柏崎茜さん(同中1年)、そして全国中学校体育大会の走高跳に出場した久保田一樹さん(同中3年)の4人。

柏崎さんは「受賞すると思っていたしなかった。頭に最初に浮かんだ言葉をつなげてスローガンにした」といい、ほかの3人も「まさか自分のスローガンが、と思



っていたのでうれしい(磯野さん)」「受賞すると思っていたのでびっくり(柏崎さん)」「全国大会ではまわりに強い人がたくさんで、びっくりした(久保田さん)」とそれぞれ感想を語っていました。

■受賞スローガン

最優秀賞 「飲酒をすすめる大人より

断るわたしは ずっと大人」(秋田悠樹さん)

佳作 「かっこいいよ! お酒を断る その姿」(磯野未和さん)

佳作 「アルコール 飲まない心に アンコール」(柏崎茜さん)

受賞報告・大会 相次ぐ

新岡精弥杯争奪剣道大会

町体育センターで11月28日(日)、新岡精弥杯争奪剣道大会が行われ、町内外の小・中学生剣士約250人が日頃の腕を競い合いました。

一本勝負が基本となっている本大会。子どもたちの気合いがこもった熱戦が随所に繰り広げられ、竹刀の音と気合いのかけ声が館内に響き渡っていました。

■小学校4年以下団体

3位 権現少年剣道クラブ

■小学校5・6年団体

3位 権現少年剣道クラブ

■中学校男子団体

2位 小泊中学校

■小学校3・4年女子個人

2位 岩本 碧海(権現少年剣道クラブ)



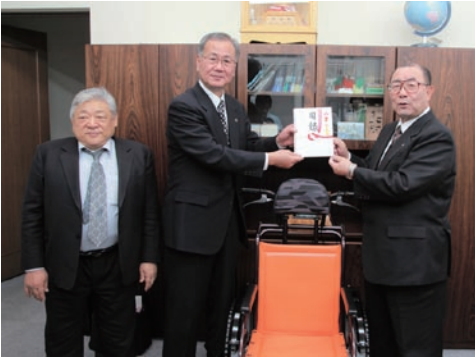
福祉に役立ててと車いす寄贈

遊技業協同組合西北五支部

12月16日(木)、青森県遊技業協同組合西北五支部の林成鎬支部長が役場を訪れ、町に車いすを贈呈しました。同支部では、平成20年から社会貢献活動の一環として、AEDや車いすを西北五の市や町に寄贈しており、町には昨年のAED寄贈に続いての贈呈です。

今回寄贈された車いすは、市販品ではなくオリジナル制作の車いすで、リクライニングができる優れたもの。配置先となる特別養護老人ホーム「静和園」の園長や職員が、興味深く説明を聞いていました。

林支部長は「地域社会の皆さんに喜んでもらえれば幸いです」



地域力結集

フォーラム

「と寄贈の趣旨を述べ、これに対し町長が「とてもありがたい。町には静和園もあり、非常に助かります」と感謝していました。」

12月17日(金)、津軽中里駅内で地域力結集!フォーラムが行われ、約80人が参加しました。

始めに弘前感交劇場推進委員 会事務局の桜田宏氏が「感動と



交流の新しい旅のスタイル」と題して基調講演。自分の地域に自信を持って、自ずと観光客誘致につながるという考えから

観光の明日を考える

地域観光リーダー育成研修会

12月6日(月)、町商工会主催の「地域観光リーダー育成研修会」が中央公民館で行われ、31人の参加者が意見交換をしました。地域観光公開セミナーとして3回シリーズで開催した研修会は、東北新幹線全線開業に備えようと企画されたもので、今回が最後の研修会でした。

講演したのは、アルファリゾート・トマム代表取締役総支配人の佐藤大介氏で、経営破綻した古牧温泉の再生に貢献した有名な人です。その再生への道のりやノウハウ、利益とのバランスなど、さまざまな事例を紹介し、会場の参加者は少しでも吸収しようと真剣に聞いていました。

後半は、参加者とパネラー、佐藤氏による意見交換会。佐藤氏からは、これからの観光のヒントとなりそうなアイデアが語られ、参加者にとって有意義な研修会となったようです。

3回の研修会を終えた商工会の三橋さんは「講師に恵まれたこともあり、いい意見交換ができた。今後、個人・団体を問わず協力することが不可欠だが、商工会もその一翼を担いたい」と意欲を見せていました。



消防協力隊結成

12月11日(土)、内潟公民館で、ハートフルプラザ薄市消防協力

「弘前感交劇場」事業を企画した経緯が紹介され、新しい旅のスタイルを提案する同劇場のコンセプトに、参加者はうなずきながら聞いていました。

後半は「もう一度来たいと思える地域をつくる」と題したトークセッション。桜田氏のほか、3人のゲストからそれぞれの活動紹介と意見交換がされ、地域の明日を考えるいいきっかけになったようです。



隊」の結成説明会行われました。この協力隊は内潟療養園が企画したもので、薄市保育所にも声をかけ、合同で協力隊の結成が図られたものです。

同園の説明では「施設の入所者、保育所入所児は、火事のと き自力での避難が難しく、地域住民の協力が重要。こういう経緯から、今回協力隊の結成を呼びかけた」とのこと。このような取組は町内では初です。

説明会では、火事になるとあつという間に火が大きくなり、手遅れになることが多いことから、地域の協力が必要であることが説明され、副隊長2人に委嘱状が渡されました。

この協力隊についてのお問合せは、きりん館・今さん(☎58)3181)まで。

国保から

シリーズ 高齢者ボランティア

① 八幡地区



昨年8月から始まった高齢者ボランティア活動。これは、会員が地区の同世代の人たちに声をかけ、集会所などに集まって交流を深める

運動です。各地区で行っているのは、新聞紙を使った「エコバッグ」づくり。在宅保健師の中村法子さんも交え、血圧測定なども実施されました。

八幡地区の会員 横山光枝さんは「地域の方々をたくさんお誘いして、皆さんに喜んでもらいました。“だんだん年いって目見えねくなってきたばって、おらにもガバンつくだじゃあ”という感想も聞こえ、こちらまで元気になりました」と笑顔で語り、高齢者ボランティア

活動を心から楽しんでいるようでした。



静和園だより

疑問

・薄市保育所 所長 川島紀子
子どもたち20人来園。1時間にわたり、お遊戯を披露してくれました。



・中里地区婦人会 会長 古川和枝
会員30人来園。居室をまわり、入所者へお菓子、ミカンをプレゼントされたあと、創作舞踊などを披露してくれました。



寄贈

・アップル会(中泊町) ……………お菓子
・中里地区婦人会 ……………お菓子、雑巾

手作りそばの味がが？

公民館でそば打ち体験教室



そば打ち体験教室が11月27日(土)、中央公民館で行われ、16人の参加者が手作り

のそばづくりに挑戦しました。講師の教育委員会古川係長が、作り方を一通り説明。参加者たちは、それぞれそば粉と水を混ぜ、そばの生地

を作っていくまま水を4回に分けて入れていきませんが、この量が非常に微妙で、ボウルでのかき混ぜ方も段階によって違うため、受講者は四苦八苦。

次は、手伝ってもらいながら練り上げた生地を、棒で伸ばす作業。薄く四角い形にしていきませんが、これもなかなか四角にならずに苦労していました。最後はいよいよ包丁で切つてそばにする作業。そばの形になつていくのを見て、参加者たちは作り上げた充実感を感じていました。

原子燃料サイクル 意見交換会
原子燃料サイクル事業に対する理解を深めようと、11月25日(木)に総合文化センター「パルナス」で意見交換会が開催されました。
この交換会は、資源エネルギー庁や青森県などが主催。宝寿大学の受講生を中心に約150人が参加しました。
事業の説明が終わったあと、弘前市のダンス・ボーカルユニット「りんご娘」と、東京大学の飯本准教授による特別講義がスタート。放射線の専門的な話

意見交換会終了後には、りんご娘が歌をプレゼント。若く元気な彼女たちのパフォーマンスに、会場からは拍手と歓声が上がっていました。
を、身近な話題に置き換えてわかりやすく授業する飯本准教授の話に、会場の参加者たちは耳を傾けていました。

